

# 予 算 総 括 質 疑 通 告 議 員

平成29年第3回（3月）定例会

- 1 宮 澤 一 照
- 2 堀 川 義 徳
- 3 山 川 香 一
- 4 岩 崎 芳 昭
- 5 八 木 清 美
- 6 渡 辺 幹 衛
- 7 高 田 保 則
- 8 霜 鳥 榮 之



# 予 算 総 括 質 疑 通 告 要

平成29年第3回（3月）定例会

1 宮 澤 一 照

- 1 無線デジタル化事業に関連して  
事業の概要と計画はどのようなか。
- 2 広報・広聴活動推進事業に関連して  
妙高チャンネルについて。
- 3 企画費（えちごトキめき鉄道の安定経営支援）に関連して  
えちごトキめき鉄道に対する安定経営支援について。
- 4 農業委員会事業に関連して  
農業委員会法の改正による農業委員の選任についてどのように進めるのか。
- 5 都市と農村交流推進事業に関連して  
誘致活動業務委託について、どこへ業務委託する見込みか。
- 6 インバウンド観光推進事業に関連して  
昨年の3倍の予算が計上されているが、今後どのように事業を展開するのか。
- 7 観光地魅力創造事業に関連して  
今後の具体的な取り組みはどのようなか。
- 8 スポーツ等合宿の郷づくり事業に関連して  
今後どのような方法で合宿の誘致を進めていくのか。
- 9 にいがた妙高はね馬国体開催事業に関連して  
開催スケジュールと方向性、選手や役員の宿泊先の配分等をどのように考えているか。
- 10 地域経済活性化支援事業に関連して  
朝日町商店街の街なか賑わいづくりについて、今後どのような支援や取り組みを進めていくのか。

**1 パソコン等による情報教育推進事業（小中学校 ICT 関係）について**

- 1) 各学校におけるタブレット端末の配置数は。
- 2) W i - F i 環境の整備についてはどのようなか。
- 3) I C T機器を活用したアクティブ・ラーニングの進め方とは。
- 4) I C Tにおけるソフト、ハードともに指導する教員の体制はどのようなか。
- 5) 先進事例における課題等は整理されているか。
- 6) 小中学生の携帯電話やスマートフォンの原則不所持の提言との整合は。

**2 特色ある教育活動支援事業（小学校）について**

小規模特認校（新井南小学校）の海外宿泊体験学習の内容はどのようなか。

**3 中学校施設管理事業（グラウンド改修関係）について**

- 1) 新井中学校グラウンド改修工事の内容はどのようなか。
- 2) グラウンドの改修内容と今後の少子化に伴う部活動での使用等の関係は。
- 3) 総合運動公園の施設とグラウンド改修内容の関係は。

**4 防災体制整備事業について**

- 1) 災害備蓄品の詳細と管理体制は。
- 2) 災害用無人航空機の全庁的な使用の検討は。

**5 広報・広聴活動推進事業について**

- 1) スマートフォンなどの携帯端末を利用した地域の課題を解決する仕組みづくりとはどのようなものか。
- 2) オープンデータ推進による期待と効果は。

**1 インバウンド観光推進事業について**

妙高観光推進協議会（妙高版DMO）を主体に外国人誘客を増加させるため、インバウンド専門員を配置するが、具体的な活動計画はどのようなか。

**2 6次産業化推進事業について**

農業の6次産業化の体制整備、農産物の栽培や販路拡大の支援はどのようなか。

**3 就労支援事業について**

若者の定住促進のため、地域人材育成支援として就職に役立つ資格取得に係る受験料等の一部助成について、国家資格は326資格、地域の特性を活かし定住に結びつく17資格としているが、定住につながると期待する資格取得者の見込みはどのようなか。

**4 妙高の植物編集事業について**

妙高の魅力を内外に発信し、自然保護の意識啓発を図るため、妙高の貴重な植生をまとめた植物図鑑を2000部刊行するが、どのように宣伝し、販売方法はどのようなか。

**5 妙高出会いサポート事業について**

妙高市でも多くの人々が仲介支援していると考えますが、気軽に未婚の男女が出会えるイベントが多く必要と考える。例えば、春の山歩き、夏のキャンプ、秋祭り、冬のスキー等が考えられるが、イベントの開催支援についてはどのようなか。

**6 病後児保育運営事業について**

病後児保育室は、保護者が子育てと就労を両立するために非常に大切である。定員、開設場所、利用状況等はどのようなか。

**7 基礎学力向上支援事業について**

学習の基礎となる「読み、書き、計算」を中心とした学力の定着を図るための学習支援が重要と考える。取り組み内容はどのようなか。

**8 防災体制整備事業について**

災害時の情報収集能力の向上や備蓄品の充実についてはどのようなか。防災体制をどのように強化していくか。

**9 地域でこども育成事業について**

地域住民の協力による子どもたちの体験学習は大変重要と考えるが、子縁活動人材制度を活用した地域活動支援や補助の内容はどのようなか。

**1 妙高ふるさと暮らし応援事業について**

- 1) 移住者数について、「Uターン・Iターン別」「年代別」の状況はどのようなか。
- 2) 移住者へのフォローアップがこれからの施策充実に重要である。移住された皆さんへの満足度や不安・不便などは、どのように把握されているか。
- 3) 首都圏での移住・定住相談会、セミナーへの出展計画はどのようなか。平成28年度来場された相談件数と相談内容をふまえた計画になっているか。

**2 焼却施設管理運営事業について**

- 1) 焼却施設の稼働時間が週単位で20時間減少するが、「ほっとランド」への熱源供給の影響はどうか。
- 2) 計画的な設備機器の改修工事で延命化が図られている。どの程度の年数の安定処理・延命化を目標にしているのか。

**3 ごみ減量・リサイクル推進事業について**

- 1) 徹底したごみ減量と資源化の取り組みをすべきではないか。
- 2) 「有価物売り払い収入」の一部を市民に見える形で還元すべきでないか。

**4 6次産業化推進事業について**

- 1) 商品の開発並びに商品化等はどのような状況か。
- 2) 地域の「産業」として定着するには、市場の視点からの商品づくりや地産地消の推進・地場産品への愛着・販路確保など、行政として見えてきた課題は何か。
- 3) 加工用ブドウの試験栽培について
  - ① 初年度における育成管理を通し、労務時間や栽培コスト面など規模拡大や栽培の課題をどのように予算編成に反映したか。
  - ② 栽培管理等を考慮すると、距離的にも遠い高床山を選んだ理由はどのようなか。
  - ③ 「栽培面積、栽培農家数、商品化」の数値的な目標はどのようなか。
- 4) 6次産業化は「伸びしろ」のある分野と考える。所得向上や雇用創出、地域ブランドの確立などのゴールに向けた推進への考えはどのようなか。

**5 鳥獣対策事業について**

- 1) 獣種別の捕獲状況はどのようなか。

- 2) 農作物の被害について、被害面積や被害額はどのようなか。
- 3) 「狩猟免許、銃砲所持許可取得者数」は、どのような状況か。また、猟友会会員の高齢化等により捕獲等の担い手不足が進んでいるが、担い手育成についてどのように考えているか。
- 4) ニホンザルのテレメトリー調査により得られた情報はどのようなか。また、得た情報による被害防止対策について、どのように考えているか。
- 5) 「ニホンジカ」が各地域で見られる。手遅れにならないよう、生息数や生息地域などの調査と対策に取り組むべきでないか。
- 6) 捕獲した野生鳥獣の獣肉処理について、解体場所を設け、安全性の確認や専門従事者による解体、料理店等への流通により、狩猟従事者にも経済効果が生じる。事業として行い、鳥獣対策としてはどうか。

## 5 八木清美

### 1 地方創生推進事業について

市では人口減少対策を効果的に進めるため、関係機関や民間企業と連携し、新たな事業を展開するなど、地域の強みや特徴を活かした自立的で持続的なまちを創造するとしている。

- 1) 若者が持つ個性や能力、斬新なアイデアをまちづくりに活かすため、若者会議を開催したが、平成 28 年度の会議の構成委員はどのようなか。
- 2) 当初、会議を年 2 回開催予定としていたが、開催数と部会はどのように行われたか。
- 3) 会議の内容は、平成 28 年 10 月 5 日の市長への提言書を経て、どのように平成 29 年度の事業に反映しているか。
- 4) 平成 28 年度の現状と、平成 29 年度以降どのように会議を開催していく予定か。

### 2 生涯学習推進事業（妙高はねうまカレッジ「まなびの杜」による講座の開催）について

市では全ての市民が心豊かに健康で充実した人生を送ることができる社会を目指し、多様な学習機会を提供し、学習意欲を喚起する仕組みの構築のため、妙高はねうまカレッジ「まなびの杜」による講座を開催した。

- 1) 平成 28 年度の現状と、参加者の満足度調査のため実施したアンケート結果を受けどのように事業に反映されているか。
- 2) 市として、まなびの杜の先にあるもの、目標をどのように捉えているか。

### 3 病後児保育運営事業について

市は、病後児保育室を設置し、保護者が子育てと就労を両立できるよう支援している。

- 1) 病後児保育室開設後の年間利用者数はどのようなか。
- 2) 病後児保育の現状と課題はどのようなか。
- 3) 妙高市及び上越市の両市施設の相互利用が可能となっているが、具体的な実施内容はどのようなか。
- 4) 病後児保育と合わせて、病児保育実施について検討しているか。

### 4 認定こども園・保育園運営事業について

- 1) 広域入所委託料の用途は。
- 2) 上越市と糸魚川市では市立保育園の広域入所がすでに実施されているが、妙高市ではどうか。

## 6 渡辺幹衛

### 1 職員管理事業について

- 1) 必要な職員数は配置されているか。
- 2) 待遇改善の状況はどのようなか。
- 3) 長時間労働の解消策はどのようなか。

### 2 入札制度検討事業について

- 1) 地元業者優先で地域経済循環を支える方策が必要と考えるがどうか。
- 2) 設計図書閲覧期間は十分か。

### 3 農業振興費について

- 1) 妙高市内における耕作放棄地や農地集積、農家所得など農業・農家の状況はどのようなか。
- 2) どのような農業経営を目指した予算編成か。



**4 サテライト妙高維持管理事業について**

- 1) 予算計上の基本的考え方はどのようなか。
- 2) 平成 29 年度の収入の見通しはどのようなか。

**5 学校給食運営・食育推進事業（学校給食調理業務委託）について**

- 1) 従前の調理員の雇用はどのように引き継がれたか。また待遇はどのように変化したか。
- 2) 現場の評価はどのようなか。

**6 中学校施設管理事業について**

新井中学校における今後 3 カ年の整備改修等の見通しはどのようなか。

**7 消防力（常備消防費）と消防団の役割（非常備消防費）について**

- 1) 妙高市における広域消防事務組合の消防力と初期消火対応の消防団の状況はどのようなか。
- 2) 団員報酬や出動手当等の改善予定はどのようなか。

7 高田保則

**1 行政評価推進事業について**

各事業における行政評価をどのようにし、新年度にどうつなげるのか。

**2 生命地域妙高環境会議事業について**

生命地域妙高環境会議における諸課題への対応について、今後どのように取り組むのか。

**3 健康保養地づくり推進事業について**

健康保養地プログラムの市民への普及や健康寿命延伸に向け、具体的にどのような取り組みを実施するのか。

**1 国民健康保険事業について**

- 1) 平成 30 年度に予定されている国保制度の広域化に向けた取り組み動向と現状について、どのようか。
- 2) 保険税負担の動向の見通しはどのようか。
- 3) ジェネリック医薬品の利用実態はどのようか。
- 4) 70 歳以上の高額療養費引き上げの動向はどのようか。

**2 地域包括ケアシステムに関連して**

- 1) 地域包括支援センターの運営内容はどのようか。
- 2) 在宅医療・介護連携の推進についてどのようか。
- 3) 生活支援体制整備推進についてどのようか。
- 4) 認知症対策推進事業についてどのようか。
- 5) 介護予防・日常生活支援総合事業の考え方と動向はどのようか。

**3 林業総務費に関連して**

- 1) 森林セラピーや水源涵養・エコトレ等多面的な活用が行われている森林を地域等が保全管理活動等を行っている。サポートの実態はどのようか。
- 2) 「保安林損失補償」の実態はどのようか。